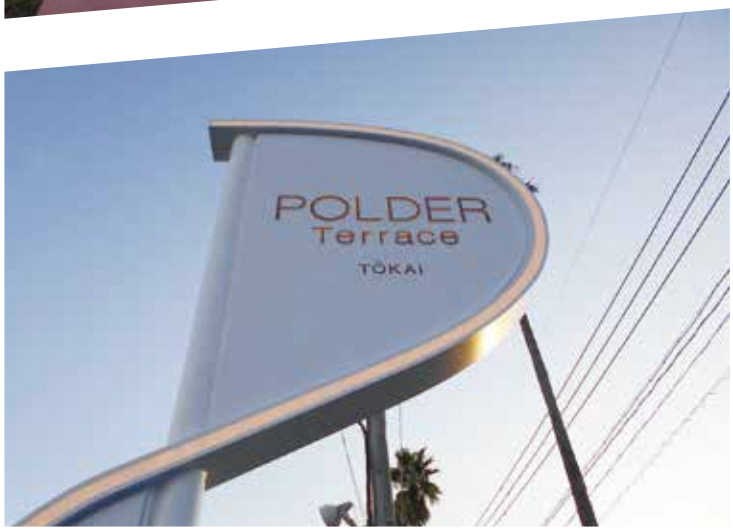
建築部門

景観部門

屋外広告部門

第6回 2020

鹿児島市 景観 まちづくり賞



ごあいさつ

森 博幸

鹿児島市長

鹿児島市は、世界有数の活火山・桜島や、波静かな錦江湾などの世界に誇れる素晴らしい自然景観、磯地区の旧集成館をはじめとする世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」など、個性あふれる歴史・文化を有し、多様な都市機能が集積する南九州の中核都市として発展してきました。

これらの豊かな自然や鹿児島の風土・文化に育まれてきた美しい景観は、都市の魅力向上や交流人口の拡大に資するものであり、地域社会共有の財産として、次の世代にもしっかりと引き継いでいけるよう、本市の良好な景観を創り、守り、育て、市民の皆様が愛着と誇りを持てるまちづくりを進めていく必要があります。

これらを実現するため、「鹿児島市景観まちづくり賞」は、良好な景観形成に寄与している民間の建築物や、市民、事業者等の活動等を表彰し、これらを広く紹介するもので、平成二十二年度から隔年で実施しております。

第6回を迎える今回は、建築部門28件、屋外広告部門12件、景観部門3件のご応募をいただき、新型コロナウイルス感染症対策に配慮したリモート会議を活用しながら、3日間にわたる厳正な審査を経て、建築部門3件、屋外広告部門3件、景観部門2件、特別賞1件を選定いたしました。

審査におきましては、「機能性やデザイン性に優れ、技術力にも水準が高い建築物」や「地域の景観全体を向上させ得る建築物」のほか、「世代間交流を図る景観まちづくりの取組」にも注目が集まり、高く評価されたところでございます。

受賞された皆様方には、心からお祝い申し上げますとともに、美しい景観のまちづくりにかける思いと、それを実現するための熱心な活動に心から敬意を表します。皆様方の優れた取組を通して創り出された一つひとつの美しい景観が、多くの方々から広く愛され、地域の新たな魅力として定着していくことを期待しております。

本市におきましては、「魅力ある都市景観の形成」をテーマに、市民、事業者、行政の協働による良好な景観づくりを推進してまいりました。

特に本市特有の景観や歴史的価値のある建造物など希少な景観を有する地区については、「景観形成重点地区」に指定することとしており、「八重の棚田地区」、「磯地区」、「南洲門前通り地区」、「喜入旧麓地区」、「歴史と文化の道地区」に続き、令和3年4月に「慈眼寺公園周辺地区」を指定することとしております。

今後ともこれまでの鹿児島ならではの良好な景観を守りながら、魅力的な景観のあるまちづくりも推進してまいりますので、市民の皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、審査会の委員の皆様をはじめ、本賞の運営にご支援、ご協力を賜りました方々、そして今回ご応募いただきました皆様方に心から感謝を申し上げ、あいさつといたします。

審査にあたって

門内 輝行

第6回鹿児島市景観まちづくり賞
審査会　委員長

大阪芸術大学教授・建築学科長
京都大学名誉教授

平成22年に創設された「鹿児島市景観まちづくり賞」は本年度で第6回となりますが、第1回～第5回に引き続き、今回もこの由緒ある賞の審査委員長を務めさせていただくことになり、大変光栄なことと存じております。

「鹿児島市景観まちづくり賞」は、前身の「鹿児島市建築文化賞」（平成2年から10回にわたって実施）から数えますと約30年に及ぶ歴史を有する賞ですが、今年は新型コロナ感染症の拡大という未曾有の出来事が重なり、募集をしたものの審査の実施が危ぶまれる事態に直面しました。全国の建築・景観に関わる賞の審査状況を調べるとともに、オンラインによる審査会の開催や現地審査の実施方法などについて鹿児島市と検討を重ね、オンライン方式と対面方式を臨機応変に組み合わせることで、審査を実施することに踏み切りました。実際には直前に感染拡大が進み、審査会は、委員長と市職員が鹿児島市役所に詰め、他の委員はオンラインで参加するかたちで開催し、現地審査については、十分な安全対策を施しながら、これまでとほぼ同様の審査を実施することができました。鹿児島市景観まちづくり賞の伝統を絶やすことなく、こうして無事に審査を完了できたことにつきまして、関係者の皆様の多大なるご理解とご尽力に深く感謝申し上げます。

第6回の審査は、11月21日～23日の3日間にわたって実施しました。審査対象は建築部門28件、屋外広告部門10件、景観部門3件でしたが、特に建築部門については見応えのあるものも多く、充実した内容であったと思います。初日に書面審査をもとに現地審査対象を選ぶ一次審査、2日目に現地審査、3日目に現地審査を踏まえて審査を行う二次審査を実施しました。今回は建築部門8件、屋外広告部門3件、景観部門1件について現地審査を行い、審査会で議論を重ねた結果、表彰対象となる作品・活動として、建築部門3件、屋外広告部門3件、景観部門2件、特別賞1件を無事選定することができました（景観部門では、時間的な都合で現地調査を実施できなかった1件についても精査の上選考しています）。

大量生産・大量消費に基づく現代社会では、人間による環境破壊が進み、温暖化に伴う気候変動や自然の中に潜在するウイルスの拡散が喫緊の課題として浮上しています。美しい景観や豊かな環境は“自然との共存”や“他者との共生”によって育まれるものであり、人間と環境との関係に調和をもたらす景観まちづくりの営みは、これらの課題解決に繋がると言えます。審査会としては、「鹿児島市景観まちづくり賞」の審査を通して、優れた景観を形成する建築物や屋外広告物、良好な街並み等と市民による景観まちづくり活動を表彰することにより、鹿児島市の景観・環境にいっそうの潤いと魅力を与えていきたいと考えています。

しょうぶ文化芸術支援センター　アムアの森

「アムアの森」は、年齢の異なる子供・障がい者・地域住民の主体的な活動を推進するため、しょうぶ学園が展開する障がい者福祉事業と組み合わせた、地域住民参加型の新しいアートセンターである。

空間構成の特徴は、外部内部ともに自然と融合するように直線を少なくし、曲線や多様な自然素材を使用して、丸みのある温かなデザインとしている点である。1階には児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、生活介護事業のための空間をゆるやかに連続させ、外の景観や自然光、色彩が溢れる創造的なアート活動の空間を実現している。地下のアートホールには開放的な野外のエントランスと楕円形のギャラリーを設けるとともに、1階へと続く螺旋階段の中心にイチョウの大木をシンボリックに配置し、上下階をダイナミックに繋ぐことにより、地域の人々との自由な交流を促している。また、室内外の床面や壁面には、施設利用者の作品が随所に組み込まれ、彼らの活動の痕跡が建物をいっそう魅力的なものに仕立て上げている。

起伏のある地形を巧みに活かしたランドスケープデザインも見事である。アートホールやギャラリーを地中化することで高さを抑えた建物のシルエット、曲線を基調とした柔らかな壁面、緑化された円錐状の屋根、大地との連続性を感じさせる色彩や素材、小さな築山やビオトープのある庭、地形差を利用したアプローチなどが交響して、自然豊かな吉野地域の風景に溶け込んでいる。アムアの森を訪れた人はこうした景観のシークエンスに沿って童話的世界へと誘われる。

福祉施設では、自分と他者の存在を認め合い、おおらかにその場の合意を形成し、共有していくことが求められる。合意形成する範囲を拡張し、万人が集える場所を構築することは、今後の福祉施設の大きな役割である。地域の文化芸術活動の拠点を構築し、その中に福祉機能を位置づけた素晴らしい建築を作り上げたことを高く評価する。

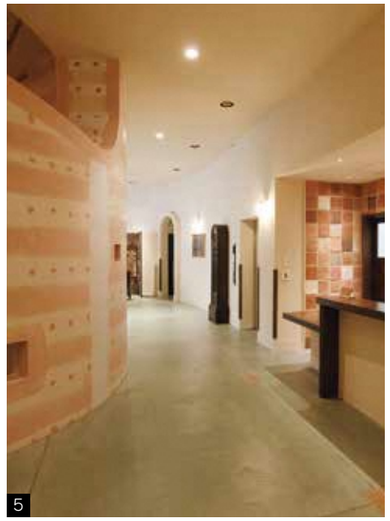
受賞者の声

お互いの個性の違う存在に幸福感を享受し、自然と人、人と人とが素直に楽しく集う。年齢、性別、障がいを超えたところ、そこに笑顔が在る。そんな環境をアムアの森から生み出したいと考えています。

㈱奥ノ薗建築設計事務所

所在地 吉野町4022番地1
建築主 社会福祉法人 太陽会
設計者 ウィリアム・ブラワー・ウッドワークス
㈱奥ノ薗建築設計事務所
施工者 三和建設株式会社

概要 用　途：児童発達支援事業所
構造等：鉄骨造・
地上2階、地下1階
延面積：1,634.61㎡



1 外観　2 食堂　3 らせん階段　4 放課後デイサービス　5 アムアホールロビー　6 多目的室　7 アムアホール

「唐湊高台の住宅」

唐湊は鹿児島市の都心に近い丘陵地に位置し、錦江湾に浮かぶ雄大な桜島を眺めることができるため、古くから住宅地として開発されてきた。その高台の敷地に桜島の眺めを最大限に生かすように造られた木造2階建ての住宅である。

建築空間は桜島への眺めを中心に構成されている。敷地の奥に回り込むアプローチの先の玄関を抜けると、天井高6mの開放的な吹き抜けを持つリビングがある。その東面の巨大なガラス窓を介して、水盤を持つコートへと繋がり、その向こうに桜島が遠望できる。リビングの奥には開口を絞った食堂とキッチンを配置し、手前の玄関脇にはゲストルームを設けている。吹き抜けの中の階段を上がった2階にある寝室からテラスに出ると、さらなる絶景の錦江湾が眺められる。

モダンな空間構成の建物であるが、室内外にカラフルなタイルやステンドガラス、茜色の壁面、エスニックな建具や家具、工芸的な照明器具、多色の破片が埋め込まれたアプローチの塀などの装飾的な要素が随所に散りばめられ、濃密な意味世界が形成されている。吹き抜けに設けられたスリット越しに見えるステンドグラスも心を和ませてくれる演出と言える。

塀や外壁は斜面地景観の重要な要素である。道路面の間知石積の固い印象を和らげるために塀を1mほど控えて植栽スペースを設け、外壁は約5mセットバックし、山の緑に映えるベージュ色としている。塀は降灰による汚れが目立たないモルタル素地仕上げとし、両側の住宅への視線に配慮した高さとしているが、緑が育つと周囲に馴染むと思われる。

こうした創意工夫の結果、桜島への眺望を大切にするとともに、住まうことの楽しさを賞味できる空間を実現し、周辺の景観との調和にも配慮した質の高い建築を創造することに成功している。この間、建築家、アートディレクター、インテリアデザイナー、住み手がバリ島での建築資材の買い付けを含む共同作業を展開したことも特筆される。

受賞者の声

「桜島の眺めを楽しみながら、なおかつ街並みとしての景観にもなりうる住宅を」と考えながら計画しました。施主をはじめこの仕事に携わった方々の技術力とチームワークの良さがこの住宅の豊かさをつくりあげました。

株式会社 小森昌章建築設計事務所 小森昌章

所在地 唐湊一丁目
建築主 個人
設計者 株式会社 小森昌章建築設計事務所
施工者 株式会社 秀成

概要 用　途：専用住宅
構造等：木造軸組構造
2階
延面積：145.01㎡

1 リビングから見る2階ホール　2 2階ホールから見るリビング　3 リビング　4 外観　5 中庭から　6 境界塀　7 キッチンとダイニング

社会医療法人博愛会　相良病院

鹿児島市のまちづくりの核となることが期待されている広い幅員で直線に延びる美しいパース通りと天文館方面に向かう銀座通りが交差する位置にある敷地に、新しく建て替えられた女性医療技術の最先端を走る専門病院である。

建物全体をパース通りからセットバックし、そこに庭園を設け、交差点からの見通しをよくするとともに、銀座通りに沿って隣接する松原神社と一体開発することにより、魅力的なランドスケープと親しみや安らぎを与える場所を創り出している。この配置計画のもとで、建物の外観は緩やかな2つの曲線が描く形態としている。高層部の円弧は街に開き、低層部の円弧は人々を優しく迎え入れ、桜島や庭園への眺めを受け止めるものであり、それらが相俟って病院が社会と共に歩む姿勢を表現する。外装色には日本の伝統色を取り入れ、鹿児島のイメージを表現しながら神社との調和を図っている。病院のメインエントランスを入ると正面に松原神社を望むことができ、神社に出入りする人の流れをつくっている。さらに銀座通りや神社との敷地境界に沿って参道を整備し、敷地内には江戸時代の南林寺の記憶をとどめる松を植樹している。

建築空間には通り・神社・桜島の眺めや歴史的記憶を活かした居心地の良い場所が随所に組み込まれている。豊かな緑を体感できるエントランスホールや待合、街に開かれたカフェ、桜島を望む待合や屋上庭園、空・光・風・緑を感じる屋上テラス、街区に癒しを与える光の景観、旧病院から移設したステンドグラスなどがそれである。また、新しい診察ゾーン“ブレストセンター”やがん患者に寄り添う“カドルハウス”などの先進的医療空間も注目される。これらを和とモダンが融合するデザインで統合している。

地域に根ざした女性医療の拠点を目指して、高度の医療機能を充足するだけでなく、周辺の通りや神社の景観、桜島への眺望、鹿児島のまちづくりなどに配慮した街並みを形成する優れた建築が実現したことを共に喜びたい。

受賞者の声

この建築は北に神社の杜を、南にパース通りと一体となる松の前庭を整備し、一体開発を行いました。街並みに新しい息吹を、人々に生きる勇気と安らぎを与えられる事を願っています。

大成建設株式会社一級建築士事務所
井内雅子

所 在 地 松原町3番31号
建 築 主 社会医療法人博愛会 相良病院
設 計 者 大成建設株式会社一級建築士事務所
施 工 者 大成建設株式会社九州支店

概　　要 用　途：病院
構造等：鉄筋コンクリート造・地上12階、地下1階、塔屋1階
延面積：13,781.68㎡

1 外観夕景　2 エントランスホール　3 エントランスホールと神社を望むブリッジ　4 カドルハウス　5 外観　6 病院と神社　7 桜島を望む待合

特別賞

鹿児島銀行新本店（本店および本店別館ビル）

鹿児島銀行新本店は 13 階建ての本店ビルと8階建ての本店別館ビルの2棟で構成される。老朽化した本店の建替えと、市内に分散する業務機能を集約し、金融サービスの充実化を図るとともに、周辺市街地活性化を目指した施設である。

外観のデザインは地域に根ざし成長を続ける「大樹」をモチーフとしている。地域と共に成長してきた鹿児島銀行を大樹になぞらえ、地域のシンボルでありたいという想いが込められている。ダブルスキンカーテンウォールの内壁に地元産杉材を活用し、それを透明性の高いガラス越しに見せることでファサードに彩りを与え、大樹のイメージを表現している。

２棟とも1，２階は、地域の賑わい創出に寄与する商業施設「よかど鹿児島」である。本店ビル3，４階にある銀行店舗は落ち着いた雰囲気の空間として構成されている。別館ビル3階にはホールが設置されているが、災害発生時における帰宅困難者の一時滞在場所として指定されている。基準階の執務室は、市内に分散されている本部機能を集約し、効率的な業務運営を行うワークプレイスである。さらに本店ビルの最上階は、鹿児島を一望できるビューラウンジとなっている。

建築技術の面では、BCP（事業継続計画）のための耐震性の確保、高層建築で自然通風を可能にするベンチレーションバルコニーや桜島の降灰を考慮したダブルガラスエアフロー方式の採用など、安全・安心・環境への配慮が注目される。

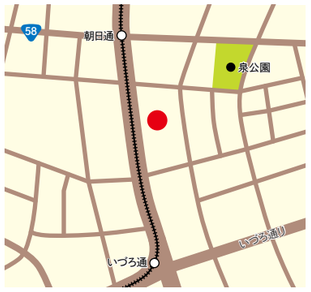
鹿児島銀行新本店は景観まちづくりに大きなインパクトをもたらしたが、同時に様々な問題を提起した。1，２階の商業施設を街に対してもっと開かれたかたちにすること、最上階からの眺望に一般市民がアクセスできるようにすることなどがそれである。グローバル化を推進する一方で、ローカルな価値が見直されている時代であるから、この建築をコミュニティに開放する意義は計り知れない。プロジェクトのポテンシャルを評価し、特別賞を授与することにした。

受賞者の声

地域に根ざし成長を続ける「大樹」をイメージしたビルです。1,2階の商業施設「よかど鹿児島」では「南九州のよかもの」を取り揃えて、皆様のご来館をお待ち申し上げております。

株式会社 鹿児島銀行

所 在 地 金生町6番6号ほか
建 築 主 株式会社 鹿児島銀行
設 計 者 石本・東条・武元共同企業体
施 工 者 大林・前田・渡辺・新生特定建設工事共同企業体
概　　要
本店ビル／本店別館ビル
用　途：事務所・店舗／事務所・店舗・集会場
構造等：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート、鉄筋コンクリート造／鉄骨造
地上13階、地下1階／地上8階
延面積：21,857.59㎡／8,840.03㎡



1 2棟 北西面外観　2 本店営業部　3 本店ビル 西面外観　4 ビューラウンジ　5 本部エントランスホール　6 よかど鹿児島　7 鹿児島銀行ホール

七夕飾りがゆれる街

東谷山エリアは市電の最終停留場である谷山電停の近くに位置し、割と早くから開発されてきた住宅地である。昔ながらの閑静な住宅街には空き家も点在し、子供より高齢者がはるかに多くなっている。この街の歴史や文化の重層性を踏まえ、住民が支え合うまちづくりを目指し、町内会のふれあい交流として進められた活動が「七夕飾りがゆれる街」である。

取り組みの中心的な担い手は、東谷山2，3丁目にまたがる桜川町内会に2016 年4月に設立された高齢者クラブ「わいわい倶楽部桜川」であり、高齢者の多い町内で、住民同士がつながり、支え合うまちづくりを進めるために、22年ぶりに復活した組織である。会員数は初年度 58 名、以後少しずつ増え、2020 年度 73 名である。七夕飾りづくりの活動には、高齢者クラブを中心に、町内会、あいご会、子供たちが参加し、幼児から高齢者まで世代を超えて一つの行事「七夕」でつながり、交流が生まれている。具体的には、七夕飾りの制作、七夕飾りの笹竹の各戸への配布、約1ヶ月間の展示、取り外しと続く共同作業が繰り広げられる。今年も 3.5mの笹で作られた美しい七夕飾り 126 本が街並みを華やかに彩り、住民だけでなく、市電の利用者、通勤通学・買い物・散歩で行き交う人、車で通り過ぎる人の目を楽しませてくれたという。

七夕飾りの分布図を見るとその数の多さに驚かされるが、七夕飾りがゆれる街が教えてくれることは、1本の七夕飾りではあまり効果がなくても、数多く集積することで素晴らしい景観を創り出すことができるという事実である。こうしたミクロなまちづくりの営みを積み重ねてマクロな都市空間を変えていくボトムアップの方法は、「タクティカルアーバニズム」（戦術的都市計画）と呼ばれ、世界的に注目されているが、七夕飾りづくりの活動はその優れた実践例と言える。さらにこの活動は、景観まちづくりを通してコミュニティづくりを推進する営みとしても高く評価できる。

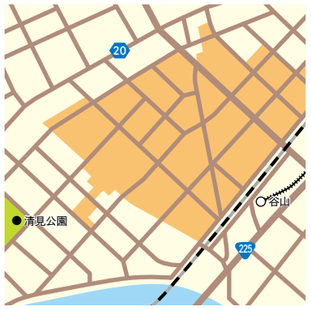
受賞者の声

「七夕で町内をきれいに飾りたい」と始めた七夕作りも4年が経過しました。住民はもとより町内を通る方々から「綺麗で心が安らぐ」と好評を頂いております。幼児から高齢者までふれあえる七夕作りをこれからも取り組んでいきます。

桜川町内会高齢者クラブ
代表 西昭子

所 在 地 東谷山二丁目
活動団体 桜川町内会高齢者クラブ

取組内容 七夕飾り



1 七夕飾りのゆれる通学路　2 愛護会七夕作り　3 高齢者七夕作り　4 飾り付け　5 飾りがゆれる住宅1　6 飾りがゆれる住宅2　7 七夕作り

柿木平遊学会美化活動

柿木平遊学会は、お互いを楽しく励まし合い、常に心身の健康を保ち、教養を高めながら、より明るい生活をすることを目的とし、郡山に住んで良かったと思われる地域づくりを 2015 年から再開した高齢者クラブである。具体的には、町内の様々な場所で、清掃作業、公園愛護作業、道路沿いの除草作業などの多岐にわたる美化活動を行っている。

中心となる活動の一つは、地域の幹線道路である国道 328 号沿いの花壇の整備である。花壇の面積は狭いが、車の往来も多く、バス停・団地・商店などに近いこともあって、運転手、地域住民、通りすがりの人々などの心のよりどころとなっているようで、多くの人々から“何時も綺麗で癒やされる”と声をかけていただき、大変であるがやりがいを感じているという。今年度から自治会等の協力も得て、魅力ある景観を意識しながら、花いっぱいで笑顔あふれる明るい地域づくりを実践している。

他にも、桜島の素晴らしい景観を望む郡山早馬公園や村境にある歌碑の清掃美化、郡山早馬団地公園や甲陵温泉団地公園の整地・刈払い・清掃作業、バス停や公民館の刈払い・除草・清掃作業、ゴミ減量化に繋がるリサイクル活動、愛護会とのそうめん流し等のふれあい事業、地域の夏祭りや灯籠作り、よかよか体操の健康増進活動、自治会との鬼火焚き、グランドゴルフなどの幅広い活動に多くの高齢者が重層的に参加しているが、賞賛に値する取り組みと言える。

今後の計画としては、近年の近隣住民同士のつながりの希薄化への対応として、防犯コントロールや見守り活動等にも今まで以上に力を注ぎ、地域にふれあいと笑顔をもたらす活動を通して、一人でも多くの人が積極的に参加したくなる組織・地域づくりをしていくと述べているが、今後のさらなる発展に期待したい。なお、様々な事業を推進する上で、鹿児島県・市からの補助金を積極的に活用するという堅実さを持ち合わせていることもこの団体の強みである。

受賞者の声

町は北薩、南薩、空港への交通の要所であり、市民飲料水となる甲突川の上流にある。自治会の運営方針にある「緑いっぱい、花いっぱいで明るい町づくり」の方針のもとに更に活動の輪を広げて充実させたい。

柿木平遊学会

所 在 地 郡山町
活動団体 柿木平遊学会

取組内容 花壇整備、清掃、
公園愛護、道路沿い除草

1 国道328号沿いの花壇　2 花壇（車道から）　3 花壇（アップ）　4 花壇に設置した標語　5 花壇（上園バス停から）　6 リサイクル作業　7 公園の清掃

1

株式会社　山形屋

山形屋は鹿児島市内随一の繁華街にあって、古くから地域の商店の核となってきた百貨店である。1916 年にルネッサンス様式で建設された RC 造4階建ての1号館は、増改築を繰り返す過程で、モダンな外観の5～7階建ての建物へと変貌したが、1998 年に創建時の姿を想起させる外壁復元工事が完成し、鹿児島市の景観に歴史の文脈を呼び戻すまちのシンボルとして親しまれる建築となっている。このときルネッサンス調の建築外壁にマッチするようにデザインされた屋外広告物である。

広告物の素材としては、耐久性を考慮して、鉄骨材料はすべてドブメッキ・ステンレス版を使用し、マークや文字は真鍮板を使用している。これは自然石調吹付仕上げ、インペリアルレッドのアルミパネルのカーテンウォール方式でつくられた建築外壁に合わせて選定したものである。

約 20 年前に設置されたものであるが、ごく自然に建物に溶けみつつ、山形屋のアイデンティティを表現することにも成功しており、鹿児島を代表する歴史ある広告物として高く評価できる。美しい夜間景観を演出するために夕日のような色温度の照明で建物をライトアップしているが、そこに白く縁取りされて浮かび上がる広告物も魅力的である。

受賞者の声

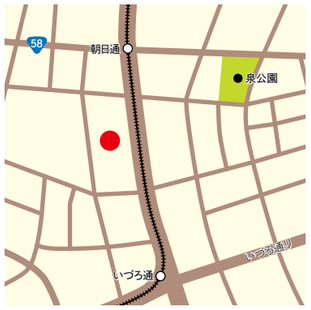
景観まちづくり賞の受賞ありがとうございます。古くから地域の商店街の核となって来た百貨店、復元されたルネッサンス様式で建築外壁にマッチした屋外広告物は景観に考慮し、デザイン・素材を選定致しました。

有限会社 輝広

2

1 近景　2 近景（夜景）

所在地 金生町3番1号
広告主 株式会社山形屋
制作者 有限会社 輝広
種　別 突出広告物



1

木の家づくり情報館 図書館「木かげ」

自然素材にこだわった家づくりを進めている企業が情報発信のために設置した木の家づくり情報館 図書館「木かげ」の屋外広告物である。

華美・過剰な表現とならないように、広告物の要素を1階と2階の間の余白にうまく配置し、建物に溶け込むデザインとしている。そこにふくろうのマスコットキャラクターや「木かげ」のロゴを配置し、親しみを持って気軽に立ち入れるように配慮している。広く取った開口部から見える室内の木質空間の設えを上質な広告物として位置づけ、通りを歩く人々の目を楽しませるように計画している点も特筆される。

施設看板はステンレスチャンネルサイン＋LED スポットライト、社名看板はステンレスボックスにレーザー切り取り文字＋内部 LED 照明とすることで、単調な広告物とならないように配慮している。

前面には樹齢 60 年を越える楠並木とツツジの植栽が続く市道や鹿児島大学の緑地があり、潤いのある街並みが広がる。広告物の色彩、室内照明やスポットライトの電球色は、こうした周辺環境との調和を意図して選定している。夜間はオレンジ色の光を放つ街灯が歩道を照らすが、看板の照明は日没から未明まで点灯し、地域防犯の一助としている。

受賞者の声

どなたでも気軽に立ち寄れるよう、親しみのあるデザインにしました。家づくりに関する情報・書籍がたくさんあります。この賞を機に多くの方にご利用いただけたら嬉しいです。

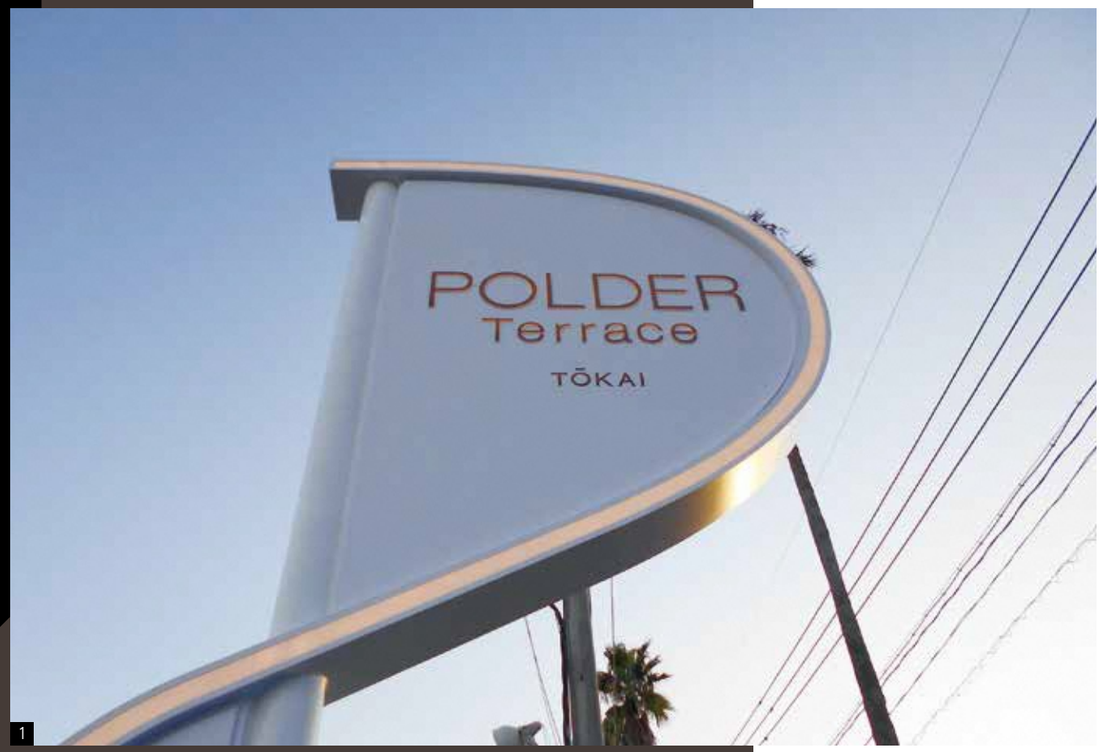
風雅匠房 株式会社深野木組

2

1 近景（夜景）　2 全景

所在地 荒田二丁目28番19号
広告主 風雅匠房 株式会社深野木組
制作者 有限会社 ライジング
種　別 壁面広告物

屋外広告部門



1

POLDER Terrace

東開町の産業道路沿いにできた POLDER Terrace は、「多くのお客様が気軽に立ち寄り、くつろげる場所」をコンセプトにカーディーラー、カフェ、アパレル、洗車のショップを集めた複合商業施設である。ここに曲線を多用しモダンで柔らかいフォルムを有する屋外広告物がある。

POLDER は輪中、干拓地、海などを造成した土地のことであり、一帯が造成された土地であることから名付けたもので、異なるショップの集合が新たな価値を持つ場所を創出するという意味が込められている。

POLDER の P と d の組み合わせから着想された優雅なS字曲線によって構成された野立て看板は、工業地帯の中でシンボルツリーのように自然な存在感と調和性を表現するサインとなっている。白と黒のすっきりした色彩の組み合わせは、遠くからでもよく見え、夜は照明によって反転し、高い視認性を確保するのに役立っている。その横にあるモダンで流れるような塀型の看板は、車両や人々を施設へ導いてくれるサインである。

特筆すべきは、これら2つの看板が、個々のショップの広告ではなく、複合施設の敷地全体という場所の広告になっている点である。新しい屋外広告物のあり方を示す優れたデザインとして高く評価できる。

受賞者の声

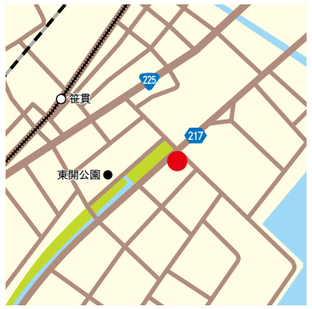
ポルダーテラスは「多くのお客様が気軽にくつろげる場所」をコンセプトにした複合商業施設です。曲線を多用し柔らかいフォルムで自然に導いてくれるようデザインしたサインが都市景観にも寄与しこの度、輝かしい賞を頂戴し光栄に存じます。

トヨタカローラ鹿児島株式会社

2

1 野立看板　2 ウッドフェンス

所在地 東開町5番地40
広告主 トヨタカローラ鹿児島株式会社
制作者 株式会社 ニシムラ
種別 野立広告物



その他の二次審査対象

※景観部門及び屋外広告部門には本欄で講評すべき対象はありません。

建築部門

慈愛会　今村総合病院

所在地 鴨池新町11番23号
建築主 公益財団法人慈愛会
設計者 三菱地所設計・竹中工務店・堂園設計共同企業体
施工者 株式会社竹中工務店九州支店
用途 病院

約400床を有する既存病院を稼働しながら敷地内で段階的ローリング開発を行い、高度医療を提供し、鹿児島の地域医療に貢献できる急性期総合型病院に機能更新するプロジェクトの第Ⅰ期が終了した段階である。看守られる安心感と介護のしやすさを両立するガラス張りの「現代のナイチンゲール病棟」や外光を多く取り入れた明るい療養・作業環境を実現している。新棟では、建物をいくつかに分節し周囲への圧迫感を軽減しながら、周辺の建物との色バランスを図ることにより、地域の街並みになじむ外観としている。ただし、現実には施工段階で変更が生じ、マスタープラン通りに進んでいない箇所が散見される。将来Ⅱ期工事完成時点の図面を見ると、バランスのとれた美しい病院が描き出されている。今回はコロナ禍のため、現地審査では内部に入れなかったこともあり、改めてその時点で評価できればと考えている。

平之町事務所

所在地 平之町7番17号
建築主 株式会社 前田組
設計者 株式会社 前田組 一級建築士事務所
施工者 株式会社 前田組
用途 事務所

社員相互の交流、社内外の人々とのつながり、社員や訪問者に対する癒しやもてなしの提供などを目指した建設会社のオフィスである。緑豊かな平田公園に面するため、外観は温かみのある木（県内産）を採用し、木部以外はガラスとモノトーンの色彩により周囲の緑に溶け込むデザインとしている。内部でも木や大谷石といった自然素材を多用し、公園の緑を最大限取り込むよう工夫するとともに、ワンフロアで見通しの良い空間を確保している。その結果、景観や環境に配慮した質の高い建築が実現している。さらに、既存の柿の木を建物内外から見えるようにする、地域への貢献として1階ロビーや4階会議室を災害時の受け入れ拠点とする、といった細やかな配慮も好感が持てる。公園や街並みとの関係から見ると建物を90°回転することも考えられるが、現在の駐車場の扱いに創意工夫を加えると景観の魅力が増幅すると思われる。

谷山腎クリニック

所在地 谷山中央一丁目4121番7
建築主 社会医療法人 白光会
設計者 株式会社 みのだ設計
施工者 株式会社 熊谷組 九州支店
用途 診療所（患者の収容施設なし）

谷山腎クリニックは谷山地区入口、国道225号沿いに計画された腎不全医療クリニックである。土地区画整理事業も終盤となり、JR谷山駅を中心に街開きの時を迎えようとしている地区の顔となる建築として構想された。敷地は大変に交通量の多い国道に面しているため、国道側からJR線側へ順に移動・ラウンジ空間、更衣・休憩空間、診察・透析空間の3層構成とし、徐々に静かな空間となるように計画している。外観は、シンボルとなる塔を配し、レンガタイルを用いた水平垂直のオーソドックスなデザインで構成されている。外部のタイルの色彩や目地、コンクリートマリオン、小庇、内部の手すり、明かり取り、照明器具などの細部の表現にこだわり、魅力的な仕上げ・風合いを醸し出している。モダンでありながら象徴性・地域性にも配慮したデザインであり、街と共に歴史を積み重ねていける質の高い建築として高く評価する。

シラスコンクリート住宅

所在地 吉野町
建築主 個人
設計者 鰺坂徹［鹿児島大学］、下山道男［ｸﾞﾘﾌｨﾝ・ｱｰｷﾃｸﾂ］
施工者 堀之内工務店
用途 一戸建ての住宅

鹿児島生まれの建築主が、地元の素材であるシラスを用いたシラスコンクリートの住宅を鹿児島の人と知恵でつくり、その普及を目指す熱い想いから実現した住宅である。桜島の降灰の多い土地区画整理事業で造成された地域に建つことから、躯体はコンクリートの特性を活かした単純なコの字断面とし、そこに機能上必要な空間を付加したシンプルな構成としている。内部は、リビングと一体となったフレキシブルな吹抜空間とプライベート空間がコンクリート壁で仕切られ、素材の特徴である美しい質感と無垢の杉材からなるストイックな空間となっている。現在家族の生活は始まったばかりであるが、高い持続性を有する建築の内外に細やかな設えが作り込まれていくことで、豊かな住空間に熟成していくことを期待したい。素材開発は鹿児島大学海洋土木工学科、設計は建築学科が担当し、時間をかけて実現した優れたプロジェクトである。

講評執筆：第6回鹿児島市景観まちづくり賞審査会　委員長　門内 輝行

■ 建築部門　■ 景観部門　■ 屋外広告部門　■ 特別賞

第1回（平成22年）受賞作品

薬師堂の家

用　途　専用住宅（車庫付）
所在地　東谷山三丁目
建築主　個人
設計者　株式会社小森昌章建築設計事務所
施工者　株式会社新生組
構造等　鉄筋コンクリート造2階

東宝アルバビル リッチモンドホテル鹿児島天文館

用　途　ホテル
所在地　千日町14番1号
建築主　萬活土地起業株式会社
設計者　竹中工務店九州一級建築士事務所
施工者　竹中工務店九州支店
構造等　鉄筋コンクリート造11階

STEP

用　途　共同住宅
所在地　松原町11番7号
建築主　田代隆宏
設計者　サウルス建築設計事務所
施工者　株式会社前屋敷組
構造等　鉄筋コンクリート造7階

大原地区フラワーロード

所在地　本名町7934番地イ先
団体名　大原地区公民館連絡協議会
内　容　県道沿いの花壇の整備、維持管理
・幹線道路の緑化
・路側帯の空き地150mの花壇等の苗植え、草取り、水遣り、清掃

八重の棚田

所在地　郡山町八重
団体名　八重地区棚田保全委員会
内　容　棚田の保全と都市農村交流による地域活性化
・八重山の山腹に広がる約240枚からなる石積みの棚田の維持保全
・棚田を生かした農作業体験を通じ、都市部住民と地域住民の交流

マルヤガーデンズ

所在地　呉服町6番5号
団体名　株式会社丸屋本社
内　容　商業施設の再生、壁面緑化、屋上緑化
・商業施設の改修工事におけるメインファサードの壁面緑化、屋上緑化
・コミュニティスペース「ガーデン」の設置、運営

第2回（平成24年）受賞作品

小規模特別養護老人ホーム寿康園・寿康園グループホーム飯山

用　途　児童福祉施設等
所在地　本名町2196番地1
建築主　社会福祉法人寿康会
設計者　株式会社みのだ設計
施工者　第一建設株式会社
構造等　木造2階

城山アパートメント

用　途　事務所付長屋
所在地　城山一丁目57番12号
建築主　有限会社田代商店
設計者　サウルス建築設計事務所
施工者　株式会社深野木組
構造等　鉄筋コンクリート造3階

宮崎銀行鹿児島営業部

用　途　事務所
所在地　山之口町12番9号
建築主　株式会社宮崎銀行
設計者　株式会社日建設計
施工者　坂下・植村特定建設工事共同企業体
構造等　鉄筋コンクリート造5階

城山観光ホテル ガーデンテラス

所在地　新照院町
団体名　城山観光株式会社
内　容　「セミパブリックとしての庭園の開放」
・ガーデンテラスの一般開放等による「市街地と桜島」眺望景観の視点場提供、鹿児島の魅力発信
・日本庭園「水屋」の整備
・イルミネーションによる演出

桜島まるごと博物館

所在地　桜島全域
団体名　NPO法人桜島ミュージアム
内　容　「桜島エコミュージアムの実践」
・桜島の魅力を体感して楽しむイベントの開催（散策ツアー、バスツアー、各種体験など）
・桜島の豊かな魅力の掘り起こしと情報発信

鹿児島中央駅前開発による都市景観の創出

所在地　中央町
内　容　九州新幹線開業に向けた「南国センタービル」「鹿児島中央ターミナルビル」建設等の鹿児島中央駅前開発による新たな都市空間整備
表　彰　建築部門に応募のあった次の建築物の建築主（5者）を一連のプロジェクトの事業主体として表彰

南国センタービル

建築主　南国ビル株式会社
設計者　株式会社三菱地所設計九州支店
施工者　株式会社大林組九州支店

鹿児島中央ターミナルビル

建築主　南国中央町ビル株式会社、南国殖産株式会社、株式会社鹿児島銀行、株式会社松元
設計者　三菱地所設計東条設計共同企業体
施工者　株式会社竹中工務店九州支店

第3回（平成26年）受賞作品

社会福祉法人太陽会「しょうぶ学園」における一連の建築

用　途　創作作業棟など
所在地　吉野町5066番地
建築主　社会福祉法人太陽会
設計者　株式会社小森昌章建築設計事務所
施工者　株式会社Misumiホームライフ事業部建設課／株式会社鶴留建設／株式会社ホーミング
構造等　木造1階(nui project棟)　他

鹿児島の家

用　途　専用住宅
所在地　平之町
建築主　個人
設計者　石井良平建築研究所
施工者　株式会社新生組
構造等　鉄筋コンクリート造2階

学校法人ラ・サール学園学生寮

用　途　寄宿舎
所在地　小松原二丁目10番1号
建築主　学校法人ラ・サール学園
設計者　鹿島建設株式会社九州支店一級建築士事務所
施工者　鹿島建設株式会社九州支店
構造等　鉄筋コンクリート造4階

西紫原小学校フラワーロード

所在地　紫原四丁目
団体名　鹿児島市立西紫原小学校
内　容　「地域の環境緑化への貢献を目指した環境緑化教育」
・教児一体となった環境緑化整備活動
・通学路の公園、緑地帯等の清掃活動
・地域住民等への花苗、種子の配布活動

石橋記念公園及び周辺上町地域の景観形成

所在地　浜町
団体名　石橋記念公園子どもガイドの会
内　容　「石橋記念公園及び周辺地域の景観形成活動」
・観光客等への園内ガイド
・公園や周辺地域の緑化、美化清掃活動
・上町や鹿児島の観光や景観を考える「鹿児島ジュニアサミットの開催」

ひらかわ美術館

所在地　常盤一丁目
代表者　平川あさみ
内　容　「美しい常盤の森を借景とした庭造り」
・古民家、庭園の再生と景観維持活動
・見学者への庭園の開放

照国表参道アーケード

所在地　東千石町
建設主　照国表参道商店街振興組合
設計者　株式会社東条設計
施工者　株式会社日米アートム
表　彰
・建設過程の熱意を持った取り組みと合意形成
・魅力的な都市景観の形成と街のイメージアップへの寄与

第4回（平成28年）受賞作品

アミュプラザ鹿児島 プレミアム館

用　途　物販店舗
所在地　中央町1番地1
建築主　九州旅客鉄道 株式会社・鹿児島ターミナルビル 株式会社
設計者　株式会社 安井建築設計事務所
施工者　九鉄工業 株式会社
構造等　鉄骨造8階

桜ヶ丘 01・02

用　途　一戸建ての住宅
所在地　桜ヶ丘八丁目
建築主　ヤマサハウス株式会社
設計者　野沢正光建築工房／ヤマサハウス株式会社
施工者　ヤマサハウス株式会社
構造等　木造2階

医療法人共助会 三州脇田丘病院

用　途　病院
所在地　宇宿七丁目26番1号
建築主　医療法人 共助会
設計者　大成建設株式会社 一級建築士事務所
施工者　大成建設株式会社 九州支店
構造等　鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階

上町維新まちづくりプロジェクト

所在地　大竜町ほか（上町地区）
団体名　上町維新まちづくりプロジェクト
内　容　「上町地区の歴史・文化的遺産の保存・活用等」
・上町の魅力を再確認するプロジェクト立案、実施
・地区内歴史的遺産等の清掃活動　等

坂之上交差点いこいの花壇

所在地　坂之上一丁目
団体名　坂之上東前、坂之上東中、坂之上駅前、笠松・星和台 4町内会有志
内　容　「国道225号坂之上交差点花壇の維持・管理」
・複数の町内会による緑化整備活動
・坂之上交差点付近の景観向上

池田製茶株式会社

所在地　南栄3丁目11番地茶業団地内
広告主　池田製茶株式会社
制作者　ZERO HOURS DESIGN STUDIO
種　別　野立広告物

第5回（平成30年）受賞作品

地域生活支援拠点ゆうかり

用　途　障害者通所施設・寄宿舎
所在地　草牟田一丁目8番7号
建築主　社会福祉法人ゆうかり
設計者　無有建築工房
施工者　深野木・川井田特定建設工事共同企業体
構造等　枠組壁工法（木造）・一部鉄骨造 4階

萩原技研本社ビル

用　途　事務所
所在地　山下町16番20号
建築主　株式会社萩原技研
設計者　株式会社Dai建築DESIGN
施工者　株式会社ミツバ建設
構造等　鉄骨造 6階

風の抜ける中庭を持つ WHITE CUBE

用　途　アトリエ付住宅
所在地　薬師二丁目
建築主　個人
設計者　株式会社武田建築事務所
施工者　株式会社前田組、株式会社新生組
構造等　壁式鉄筋コンクリート造3階

鹿児島中央ビル2階「中央ビルテラス なかにわ」

所在地　山之口町1番10号
団体名　鹿児島中央ビルディング株式会社
内　容　「中央駅エリアと天文館エリアをつなぐ高見馬場エリアの「にぎわい創出」」
・2F「なかにわ」の活用（緑化）
・1Fロビーの待ち合わせ場所化
・地下1F「なかちか ぎゃらりぃ」の運営 等

南方校区の田園景観を活かした里づくり

所在地　東俣及び川田町の県営ほ場整備施行地内
団体名　南方保全会
内　容　「南方校区の田園景観を活かした里づくり」
・彼岸花の里づくり
・桜と石橋のライトアップ
・ホタル観賞会　等

セイカ食品電照広告

所在地　千日町15番1号
広告主　セイカ食品株式会社
制作者　株式会社ハダ工芸社
種　別　屋上広告物

建機ミュージアム

所在地　小野町3618番地
広告主　株式会社エコフロント西部
制作者　有限会社輝広
種　別　野立広告物

第６回 鹿児島市 景観まちづくり賞

1 目的

景観まちづくり賞は、良好な景観形成に寄与している優れた建築物や屋外広告物、並びに市民等の活動により保全されている景観の良好な街並み、田園、海岸、緑地、及び景観形成に貢献している市民等の活動を表彰し、これらを広く紹介することにより、景観に対する市民や事業者の関心を高め、魅力的な景観のあるまちづくりを進めることを目的として実施するものです。

2 募集期間

令和2年7月13日(月)～9月11日(金)

3 募集対象

1 建築部門

市内にあり、建築物として優れ、美しい街並みと豊かな都市環境に寄与し、街に潤いと魅力を与えており、平成22年４月１日から令和２年９月11日までに建築基準法による検査済証の交付を受けた民間建築物

2 屋外広告部門

市内にあり、広告物として優れ、美しい街並みと豊かな都市環境に寄与し、街に潤いと魅力を与えている民間の屋外広告物

3 景観部門

■市民・事業者によってつくられ保全されている街並み、田園、海岸、緑地などの市内の良好な景観

■市内で継続的に取り組まれている景観まちづくり活動

4 応募件数

建 築 部 門 ：28件
屋外広告部門：12件
景 観 部 門 ： 3件

5 審査会

1 期間

令和2年11月21日(土)～23日(月)

2 審査会委員

委 員 長	門内　輝行 大阪芸術大学教授・建築学科長、京都大学名誉教授
副委員長	井上　佳朗 鹿児島大学名誉教授
委　　員	古川　恵子 鹿児島女子短期大学名誉教授
	橋本　文雄 鹿児島大学農学部長
	江良　きよ子 era色彩計画代表
	木方　十根 鹿児島大学大学院理工学研究科教授
	東川　美和 NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会事務局長

6 表彰

建 築 部 門	建築主　賞状及び銘板 設計者　賞状 施工者　賞状
屋外広告部門	広告主　賞状及び銘板 制作者　賞状
景 観 部 門	活動団体等　賞状及び賞金10万円
特　別　賞	建築主　賞状

景観まちづくりとは

景観とは・・・

■景観は、それぞれの地域ごとの歴史、地勢や生態系などの風土、文化や伝統、私達一人ひとりの暮らしや経済活動等と、技術の進歩や法律制度等が背景となってつくられるものです。

■良好な景観は、地域の個性や特色をわかりやすく特徴づけるものであり、人々の地域に対する愛着やふるさと意識を育みます。

■身近にある景観のよさは、潤いある魅力的で豊かな生活環境の創出に貢献します。

■美しく個性的な景観は、観光をはじめ国内や世界各地との交流を活発にする役割を担います。

景観まちづくりとは・・・

■自分たちのまちの景観を楽しみ、貴重な財産として次世代に残せるように、わがまちの景観を維持・継承・改善するための様々な取り組みが、景観まちづくりです。

■景観まちづくりは、現在の良好な景観を大切に保全することだけでなく、新たに現代的で美しく魅力的な景観をつくりだすことも含みます。

■清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観まちづくりに貢献しています。

歴史・風土　文化・伝統
人々・暮らし　技術・制度

これらが一体となって目に見えてくるものが

景観

景観まちづくりの結果も
景観の新たな背景

まちの景観を
維持・継承・改善する行為

まちの景観を維持・継承・改善
するための様々な活動が

景観まちづくり

あなたとわくわく

マグマシティ
鹿児島市

鹿児島市建設局
都市計画部都市景観課

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
TEL:099-216-1425
http://www.city.kagoshima.lg.jp/

発行:2020年12月